

まっちゃんぐ

街 ing いばらき NEWS

No.263

2025年

1月号

(毎月2・5日発行)

長谷川誠子

12月例会 議事録

日時： 令和6年12月5日(木) 14:00~16:00

場所： 川本本店

出席：7名 川本 阪田 笹嶋 杉田 鈴木 長谷川 牧

- 11月26日(火)に神戸市の相楽園周辺を訪ねました。参加者12名。震災から30年、復興した神戸を実感しました。
- 新年会として摂津富田の清鶴酒造を見学します。日程2月8日(土) 13時総持寺駅改札口集合 参加者別紙参照 普門寺500円は各自払い。清鶴酒造の見学・試飲・お土産として2,000円。集合時に会費として徴収、会計を長谷川さんに依頼。補助金はなし。参加者 川本 阪田 阪田 笹嶋 鈴木 清野 谷木 中村 南野 長谷川 牧 松岡 吉田 吉田。谷木・長谷川さんは清鶴酒造のみ。清野さんは二次会のみ。夕食会場の「幸蔵(こうぞう)」は超人気店、17時10分より12名で予約済み。会費5,000円 飲料代は各自払い。
- 4月3日(木)にお花見を実施。行先 京都市大原野。昼食は人気の手打ちそば「こごろ」。
- 5月27日(火)に兵庫県高砂市を訪ねます。「高砂やこの浦舟に帆をあげて・・・」で知られています。詳細は後日案内。
- 今後の例会実施日 1月なし 2月なし 3/6(木) 4月なし
5/8(木) 6/5(木) 7/3(木)

以上



副市長面談

杉山 英俊

10月5日の街ing いばらき会合において、秋元副市長と面談の場があり、私も防災について発言の機会を頂きましたので内容をまとめてみました。

● 想定することの大切さ

2011年の東日本大震災での津波や原発事故では「想定外」という言葉が頻繁に使われたのと対照的に、地元の中학생らが、津波が来るかもしれないと想定し、住民を高台に誘導する事で多くの命が救われた事で、想定する事大切さが浮き彫りになりました。

2018年の大阪北部地震において、高槻市でブロック塀が倒壊した事に対して、茨木市は学校などブロック塀の解体を実施しました。しかしながら、明らかに安全と思われるブロック塀を解体する一方、傾いている危険な万年塀を放置しました。「ブロック塀は危険」と言う市民感情に配慮した事かもしれませんが、それなら「このブロック塀は現在の構造基準に適合しています」などの看板を設置すれば良く、本当に危険を想定するのであれば、傾いている万年塀の解体を優先させるべきではないかと思えます。

また、各地で行われる防災訓練においても、内容が形骸化している事が多く、本当に非常時に役に立てようと思ったら、具体的に何が起こるかを想定して準備や訓練を行う事が必要ではないでしょうか。

● 情報を集める事と知らせること

常時から、地元に住む施工業者、医師、看護師、職人、消防士、建築士などの情報を把握し、非常時に協力してもらうような体制づくりができないでしょうか。普段から研修などを行ってもらう事もできるし、防災に対して大変有効ではないでしょうか。

非常時に、どの地域でどんな事がおきているのか迅速に情報を集める事が必要であると同時に、市民に的確に情報を伝える事も重要です。現在の防災スピーカーから流れる放送が不明瞭過ぎて、いざという時に役に立たないと思うのですが、情報を伝える方法をもっと工夫できないでしょうか。

情報を伝える方法として、今でも市役所の関係課に行けば冊子などが得れるのですが、わざわざそこに訪れる市民は限られており、もっと積極的に伝えられないでしょうか。たとえば、集客力のあるオニクルの図書館などの一角に防災コーナーを作り、情報の展示や防災相談などができるようにすればどうでしょうか。

以上、これらの提言に対して、秋元副市長は真剣に耳を傾けて頂いていたように感じました。貴重な発言の機会を頂戴し、ありがとうございました。

街ingでは毎年お花見を実施しています。当初は日曜日に実施していましたが、最近は平日に行っています。来年の行先は「大原野おはらの」です。4月3日(木)。楽しみです。

街ingのお花見

年	西暦	月	日	曜日	行先	出来事
平成14年	2002	6	6	木	川本宅 創立記念日	サッカーワールドカップ 日本開催
15	2003				お花見なし	新型肺炎SARS猛威
16	2004				お花見なし	アテネオリンピック
17	2005	4	3	日	パナソニックヒルズ大阪	郵政民営化法案成立
18	2006	4	6	木	元茨木川	サッカーワールドカップ ドイツ大会
19	2007	4	5	木	元茨木川の税務署前	世界金融危機リーマンショック
20	2008	4	6	日	山科疎水流域・蹴上	北京オリンピック
21	2009	3	29	日	茨木市・椿山	7月政権交代 民主党政権
22	2010	4	11	日	仁和寺お花見 昼食権太呂	サッカーワールドカップ 南アフリカ大会16強
23	2011	4	3	日	醍醐寺	3月東日本大震災
24	2012	4	8	日	京田辺市井手町 一休寺	ロンドンオリンピック
25	2013	4	7	日	嵯峨野 大覚寺 平安郷	経済政策アベノミクス始動
26	2014	4	6	日	奈良県宇陀市 又兵衛桜	サッカーワールドカップ ブラジル大会予選敗退
27	2015	3	20	金	雲雀ヶ丘ヴォーリズ邸	マイナンバーカード がスタート
		4	12	日	東近江	
28	2016	4	10	日	奈良・山辺の道	リオデジャネイロオリンピック
29	2017	4	2	日	雲雀丘花屋敷 明月記	将棋の藤井聡太デビューから29連勝
30	2018	4	5	木	塩屋 ジェームス邸 須磨浦	6月大阪北部地震
令和元年	2019	4	4	木	亀山(亀岡)城下町	令和に改元
2	2020	2	26	水	北浜からガスビル お花見中止	1月コロナ感染者確認
3	2021	4	1	木	武田尾	1年延期の東京オリンピック
4	2022	4	5	火	花園・双ヶ丘	サッカーワールドカップ カタール大会
5	2023	4	5	水	近江八幡	阪神タイガース日本シリーズ 制覇
6	2024	4	3	水	京都植物園	パリオリンピック
7	2025	4	3	木	京都「大原野」	大阪万博開催4/13～10/13

港町・神戸で感動の出会い

レトロ建築、日本庭園と鯛めしランチ

実施日 2024年11月26日(火)

参加者 12名 阪田 笹嶋 杉田 鈴木 清野 谷木 中村 南野 長谷川 牧 松岡 吉田

当日の様子

阪神大震災は1995年1月に発生しました。30年前のことです。今回の散策では復興をとげた神戸の街を実感しました。神戸市役所展望ロビーからの眺めは新しくなった神戸の息吹も感じました。午後からは雨模様でしたが、紅葉の相樂園で秋めく都会の庭園を楽しみました。参加者は人生の紅葉期とも。いや、まだまだこれからですよ。

神戸と三宮

神戸市が近代都市として発展するきっかけは、幕末の兵庫港開港と外国人居留地の設置でした。現在の神戸駅はこの兵庫港と居留地の間に設置されました。当時の神戸駅周辺は全国有数の繁華街として栄えていました。一方、三宮界隈も居留地を中心に振興住宅地として人口が増加。ビジネス・商業の中心地として発展を始め、神戸市役所も神戸駅から現在の位置に移転しました。今では、三宮が神戸を代表する地域となっています。

参加者の感想

- 昼食会場の燦 SUN の食事は最高でした。
- 相樂園の雨も味がありますね。
- メインの燦と相樂園がもう少し近いともっとよかったです。
- 市役所展望台のガイドさん、楽しかったです。
- 神戸市役所のロダンやマイヨールの作品はすごかったです。

阪急三宮駅前での記念写真。
お尻の形をしたモニュメント前です。「お尻タワー」の正式名称は「アモーレ」阪神大震災後に設置されました。「不屈の精神で立ち上がる姿」表現しています。アモーレはイタリア語で「愛」





昼食会場の燦(さん)です。
鯛めしがメインで前菜、お造り、デザートをいただきました。店の雰囲気も窓からのながめも、お味も申し分なしでした。サントリーの系列店で、10階からの夜景もすばらしいとのことでした。

神戸市役所の展望ロビーです。突如現われたガイドさんが、名調子で解説してくれました。神戸が海と山にはさまれた狭い地形のなかで発展している様子がよく分かりました。



南京町。100あまりの店舗が軒を連ねています。横浜中華街、長崎中華街と三大チャイナタウンを構成しています。南京町の名称は神戸だけです。昼食のあとだけにお腹いっぱいでも何も食べませんでした。中華街で食事するために後日再度訪れた会員の方もおられたようです。



相樂園は、元神戸市長、小寺謙吉氏の先代の本宅に作られた庭園で明治18年頃築造されました。昭和16年に神戸の所有となり、一般に公開されるようになりました。ソテツ、クスノキ、つつじ、もみじなどを季節ごとに楽しむことができます。





恋多き和泉式部

南野 利江

和泉式部は、紫式部 清少納言と並んで 平安時代を代表する才女です。

漢学者の父を持ち、かなりの教養を身につけていただけでなく、美し

かったという記録が残っています。 自分の心のままに自由奔放に生きた女性だったようです。

10代で結婚した 20歳年上の夫が 和泉守だったので和泉式部となりました。

和泉式部は 後宮勤めの女官でした。後宮とは天皇の奥さんが住むところです。

そこで^{ためたか}為尊親王に言い寄られます。 為尊親王は冷泉天皇の第三皇子 若く当代きってのプレイボーイでした。 泉式部は、両親からは身分の違いの恋であると非難を受け、夫とは離婚にまで発展しますが、二人は恋にのめり込んでいきます。 ところが一年後に その恋は終わります。

為尊親王が突然病死してしまったのです。親王を死に至らしめた悪女だと世間からも非難をあびた和泉式部は次の歌を詠みました。

「はかなさに つけてぞ嘆く夢の世を 見果てぬなれし人によそえて」

(この世も恋も なんてはかないのでしょうか。私はあなたを思って今日も泣いています。)

そんな失意のどん底にいる和泉式部の前に現れたのが^{あつみち}敦道親王です。 敦道親王はなんと為尊親王の弟、またも天皇の第四皇子です。さすが すばらしい女性は周りがほっときません。

敦道親王は 「兄の愛人だった人はどんなひとだろう」との興味から 次のうたを送ります。

「さつきまつ 花たちばなの香をかげば 昔のひとの袖の香ぞする」

(橘の花の香りをかげば 死んだ兄を思い出しますか?)

和泉式部の返歌は 「かおる香に よそふるよりは ほととぎす 聞かばや同じ声やしたるぞ」

(あなたの声は 為尊親王と同じ声なのかしら あなたの声を聞いてみたいわ)

なかなかやりますね。 男心をくすぐっています。 その歌をきっかけに 二人は近づき親王は 彼女の美しさと 賢さに燃え上がり どんどんと恋にはまり込んでいきます。

敦道親王は 「恋と言えば 世常のことやあと思うらむ 今朝の心はたぐいだになし」

(私にとってもこの恋は特別 こんな思いははじめてだよ)

敦道親王は、余りに彼女を愛するあまり、一緒に暮らしてほしいと無理に屋敷に連れてきます。奥方は身分の高い女性、プライドが許しません。とうとう家を出ていきます。結果的に和泉式部が追い出したことになり、親からも勘当、世間からも節操のない女だと非難されます。がその恋も5年で終わります。またもや敦道親王が26歳で亡くなってしまうのです。二度に渡って愛する人をなくして、世間からも親からもパッシング 死にたい気持ちだったのではないのでしょうか？ 悲しみ苦しみながら その心の隙間を埋めるために、敦道親王との激しい思いをつづったのが「和泉式部日記」です。 その冒頭文

「夢よりもはかなき世の中を、嘆きわびつつ明かし暮らすほどに・・・」

高校の教科書にも出てきます。

最初の夫との間にできたのが ^{こしきぶ} ^{ないじ} 小式部の内待 母の血をひく才女でした。

ある人から 「うたが上手なのはお母さんの和泉式部に書いてもらっているのでしょうか。」といわれ

「大江山 生野の道は遠ければ まだ文も見ず天の橋立」

(母が住んでいる丹後の国は 大江山を越えて生野をとおってとても遠いので、天の橋立には行ったことはありません。 母からの手紙もこちらにはとどいていません。)

と返歌をしたもので 彼女の才能は本物だとみとめられるようになりました。

小式部の内待は 20代でなくなっています。和泉式部は深く悲しみました。

最後に、和泉式部の有名な歌 百人一首の中から

「あらざらむ この世の他の思い出に 今ひとたびの会うこともがな」

(もうすぐ私は死ぬでしょう。 あの世へ持っていく思い出に、もう一度だけあなたにお逢いしたいものです) だれに会いたかったのでしょうか。

当時の権力者 藤原の道長は 「浮かれ女」と非難しながらも彼女の才能は認めているようで娘の教育係に取り立てています。紫式部は、「恋文や 和歌はすばらしいが 素行は感心できない」と「紫式部日記」の中で批評しています。後の与謝野晶子は、「和泉式部は情熱的な人だ」と共感しています。世の中の人々 自由奔放な恋愛は節操がないと非難しながらも 心の奥には そんなふう生きてみたいと、どこかあこがれもあるのかもしれません。

次回のイベント

街歩き 2月8日(土) 摂津富田周辺散策 阪急総持寺駅 13時00分集合

==== 次回『街ing いばらき』例会のご案内 ====

日時： 令和7年3月6日(木) 14:00~16:00

場所： 川本本店 茨木市上泉町 6-29

- 議題： 1. 2月8日(土)富田の酒蔵見学の振り返り
2. 4月3日(木)大原野のお花見
3. 5月27日(火)の高砂散策 他

『街ingいばらき』とは？

茨木のまちづくりを考える市民グループです。といってもあまり硬いことではなく、月一回の例会や年5回程度の街歩きを行っています。

参加資格は問いません。入会に関心のある方は、お問い合わせください。

とりあえずのご見学や、イベントの単発参加も歓迎します。

入会金 1,000円 会費 年間2,000円(一か月170円)



« 編集後記 »

- 2024年が終わります。街ingでは4月京都植物園、5月大山崎、6月夙川、10月日本銀行、いばきた、11月相楽園の街歩きを実施。10月には秋元副市長との懇談会も実現しました。楽しい思い出を残せたのではないかと思います。無事故であったことも何よりでした。
- 一年間のご愛読、ご参加ありがとうございました。よいお年をお迎えください。そして新年もどうぞよろしく願いいたします。

« 編集・発行 »

阪田 浩 〒567-0881 茨木市上中条一丁目10-22

Tel/Fax 072-627-3480 e-mail: ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

街ing ホームページ : <http://wwa.machiing-ibaraki.com/>

ホームページは杉田さんが作成されています。ときどきはのぞいてみてください。

2024年12月現在での訪問者は10,370 <前月比20の増加> となっています。

